

# 沖縄の歴史と魅力(下)

## 中城村の図書館

本コラム(上)に書いたように、沖縄返還の翌年である1973年に沖縄に行った。その折も訪ねたことがある中城村(なかぐすくそん)。沖縄本島の中部東側にある(図1)。それより北にある辺野古の埋め立ての代執行問題は今年の初めの沖縄での大きな出来事となった。その辺野古の現場には、別用で沖縄本島をレンタカーで一週した折に立ち寄ったことがあった。沖繩高専のすぐ近くであった。



図1 那覇市中城村(うるま市)平安座島のドライブ

## 地元力発見!!

佐藤建吉 「洗楓座」代表

⑤1

真が貼られている。奥のスクリーンでは80ミリの動画が写っている。

る。これらが、元米兵の作品で、今回はその一部の展示であるという。ひと通り見た後、そうした事情を話してくれたのは受付の男性。その方は図書館長であった。話が、東京の国際善隣協会での講演会の企画をしているので、沖繩の当図書館からリモートで講演して欲しいと申し出た。これが、契機となり翌年に講演会が実施された(後述)。

2階と1階は図書館の閲覧室。行ってみると分かりやすく蔵書も豊富である(約12万冊)。2階はみた。

## アートプロジェクト

比嘉島の4島で同時開催していたアートプロジェクト

次に出かけたのは、うるま市。北側にはドライブし、本島内うるま市から海中道路で結ばれた平安座島のほか、宮城島&伊計島&浜設計・蒲地史子の作品で、沖繩の



護佐丸歴史資料図書館



平安座島でのアートプロジェクトの例

でもある。昇龍の年にしたい。

## むすびに

護佐丸歴史資料図書館長・濱口寿夫氏によるオンライン講演会は、2023年7月13日に「中城村の沖縄戦」と題して開催された。今年24年は辰年、沖縄は龍神の島

1950年山形生まれ。

東京都立大院卒。元千葉大学院工学研究科准教授(金属疲労専攻)。金属疲労の研究のほか、他分野のテーマの研究開発に努めるとともに日本各地の地域おこし活動に従事する。ローカル鉄道と地元の酒蔵のコラボで地域再生を図る地酒「鐵の道」の製造・販売を企画(すでに10件を超える銘柄を送り出している。一般社団法人洗楓座)代表。一般財団法人「エココミュニティアムいすみ」代表。

風土を活かし場所力を表現していた。